

大学入学共通テスト【英語（リーディング）】より



スマホのやりとりが英語の読解問題に!

▲同じ寮のルームメイトから、スマートフォンに届いた「Help」に対するやりとりを読んで答える読解問題。英語・リーディングでは、身近な日常生活の場面を題材にした読解問題が目立ち、昨年より問題量が6ページ増えている。

コレだけは知っておきたい!
イマどき 教育NEWS

大学入学共通テスト
知識に裏打ちされた
深い思考力を問う

2021年1月、初の大学入学共通テストが実施されました。これまでの大学入試センター試験とどう変わったのでしょうか？ また、これからどのような学習が必要なのでしょう？ 教育ジャーナリストの後藤健夫さんにかがいました。

教科の本質的な理解を問う
思考力・判断力を要する問題に

第1回の大学入学共通テストは、大きな混乱もなく無事に終わりました。コロナ禍を考慮して、1月16・17日の本試験のほか、第2日程や特別追試験など全3回の日程を設けるといふ異例の措置が取られました。全日程のトータル受験者数は約52万7千人と、前年とほぼ変わっていません。当初、英語4技能を測る民間資格試験の導入や、記述式問題の出題が予定されていましたが、今回は見送られました。しかし、この導入の是非よりも、改革の本来の趣旨に注目することが大切です。

共通テストでは、センター試験と大きく変わった点があります。それは一問一答のような、覚えた知識をそのまま答えるような問題が減り、複雑な思考や判断を要する問題が増えたことです。たとえば、英語のリーディングでは、発音・アクセント・文法問題は一切出題されなくなりました。

【共通テスト 出題内容の特徴】

- ・思考力・判断力を要する問題
- ・教科・科目の固有の知識を使って、日常生活のさまざまな課題の解決を考える問題
- ・機械的、方法的に解き方のパターンを暗記しているだけでは対応できない問題
- ・複数の資料（グラフや図表など）を読み取る問題
- ・教科書や資料集に出ていない資料やデータが与えられ、それを分析・考察して答える問題

【共通テスト 出題形式の特徴】

- ・マークシート式は変わらず
- ・計算結果や答えの数値を選ぶ単純な問題は減少
- ・数値や数式の関係、資料などから読み取れる事象を答える選択肢形式の問題
- ・小問ごとに基本的な知識・技能を問いつつ、最後にそれらを組み合わせて考える発展的な問題
- ・単純な消去法では答えられない問題
- ・本文に合うものを選ぶだけでは正解に到達できない問題
- ・一つ前の問題を正解していないと、次の問題も正解できないような連動型の問題

AIやロボットにできない
人間だけの能力が求められる

大学入試の大きな改革は、実に31年ぶりのことです。なぜ、今、このような思考力・判断力重視のテストに変わったのでしょうか。それは、デジタル技術やAIなどの進化によって、人間に求められる能力が確実に変わってきているからです。たとえば調べ物をするとき。辞書や図鑑をめぐったり、パソコンを立ち上げてインターネット検索したりするのでしょうか？ そんなことをしなくても、今は、スマートフォンやスマートスピーカーに呼びかければ音声で答えてくれる時代です。極端なことを言えば、早く正確に情報を処理したり、多くの知識を詰め込んだり、規律を重視し

命令どおりに的確に作業したり、正解が決まっている問題に正解したりという、従来の教育が重視してきた能力は、AIやロボットに任せればよい。むしろ人間には、AIやロボットが解決できない、前例のない未知の問題、正解がわからない問題に対して、知識や技能を働かせ、思考力や判断力を発揮して、仲間と協力しながら、能動的に挑んでいく能力が必要なのではないでしょうか。

お話しくださったのは……

後藤健夫さん
教育ジャーナリスト



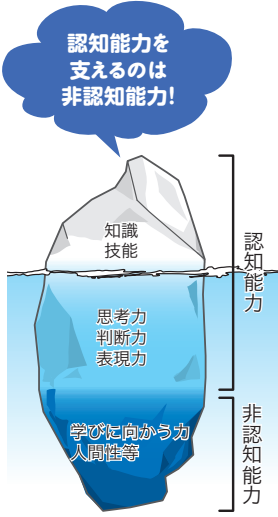
大学卒業後、河合塾に入社。教務、企画、大学情報等を担当。その後、大学コンサルタントとして、有名大学などのAO入試の開発、入試分析・設計、情報センター設立等にかかわるとともに、塾・高校の進学アドバイザーも務める。早稲田大学法科大学院設立に、入試設計・募集担当として参加。元東京工科大学広報課長、入試課長。経済産業省「未来の教室」にも参画。『大学ジャーナル』編集委員、『読む進学.com』大学進学・編集長、『セオリー・オブ・ナレッジ—世界が認めた「知の理論」』（ピソンジャパン）の企画・構成・編集を担当。執筆記事多数。

入試ありきではなく
学び続けるエンジンとなる学力を

2022年度から、高校で新学習指導要領が実施され、新たに「歴史総合」「地理総合」「公共」「情報I」などの教科が設けられます。また、「知識をどれだけ知っているか」から「学んだ知識を使って、日常生活や社会生活の課題をどう解決するか」を探究する学びへと変わります。先生の板書をひたすら無言でノートに書き写すような、いわば「写経の授業」と揶揄されるような受け身の学びは、これからは通用しません。

身近な課題を教科の知識を使って実際に解決するプロジェクト型学習や、教科の枠を超えて深く本質を探る探究学習など、小中学校で既に実施されている「主体的・対話的で深い学び」を、高校でいっそう進化・深化させる必要があるでしょう。そうして思考力・判断力・表現力が身につくければ、共通テストの対策は必要ない、とさえいえるかもしれません。

大切なことは、入試ありきの学力ではなく、生涯にわたって学び続けるエンジンとなる学力を身につけることです。入試で測る「認知能力」を支える土台となるのは、学びに向かう力や人間性などの「非認知能力」です。「非認知能力」は、一朝一夕には身につけません。大いに塾を活用しましょう。普段から「本当にそうかな？」と深く考える習慣をつけ、塾の先生をうならせるような質問をするぐらいの心意気でいてほしいですね。



大学入学共通テスト 思考力・判断力を求める特徴的な問題

大学入学共通テスト【数学I・数学A】

(2) (1)の $P_W(A)$ と $P_W(B)$ について、次の事実(*)が成り立つ。

事実(*)
 $P_W(A)$ と $P_W(B)$ の は、①の確率と②の確率の に等しい。

の解答群
 ① 和 ② 2乗の和 ③ 3乗の和 ④ 比 ⑤ 積

(3) 花子さんと太郎さんは事実(*)について話している。

花子：事実(*)はなぜ成り立つのかな？
 太郎： $P_W(A)$ と $P_W(B)$ を求めるのに必要な $P(A \cap W)$ と $P(B \cap W)$ の計算で、①、②の確率に同じ数 $\frac{1}{2}$ をかけているからだよ。
 花子：なるほどね。外見が同じ三つの箱の場合は、同じ数 $\frac{1}{3}$ をかけることになるので、同様のことが成り立ちそうだね。

当たりくじを引く確率が、 $\frac{1}{2}$ である箱A、 $\frac{1}{3}$ である箱B、 $\frac{1}{4}$ である箱Cの三つの箱の場合を考える。まず、A、B、Cのうちどれか一つの箱をたために選ぶ。次にその選んだ箱において、くじを1本引いてももとに戻す試行を3回繰り返したところ、3回中ちょうど1回当たった。このとき、選んだ箱がAである条件付き確率は と となる。

会話を読み取る「読解力」が必要!
 くじの入った箱が2つの状態で、誘導しながら条件付き確率まで求めさせたあと、それを踏襲して、箱が3つの場合、箱が4つの場合を考えさせる。花子さんと太郎さんの会話を読み取り、それぞれの考えを踏まえながら解答する読解力も必要。

大学入学共通テスト【地理B】

問1 各地の雨温図の特徴に影響を与える気候因子を確認するために、コハルさんの班は、仮想的な大陸と等高線および地点ア～カが描かれた次の資料1を先生から渡された。これらの地点から2地点を選択して雨温図を比較するとき、海からの距離による影響の違いが強く現れ、それ以外の気候因子の影響ができるだけ現れない組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

資料1
 等高線の間隔は1000m。

① アとイ ② イとウ ③ エとオ ④ オとカ

仮想の大陸の気候を考える「抽象的思考力」が必要!
 世界地理で学んだ雨温図や等高線などの気候変動に関する知識を活用して、実際にはない大陸の気候の特徴を考える問題。抽象化、モデル化して考える思考力・判断力が求められる。

大学入学共通テスト【世界史B】

B 次の資料は、日本人ジャーナリスト大庭何公が19世紀以降のロシアにおける革命運動の展開について1919年に論評した文章である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

「農民の覚醒」については、 もこれに注意し、 もまたこれに留意した。則ち はこれが覚醒を促すに努め、 はこれが覚醒を防遏(注)するに苦心した。そして歴代の露国 は、農民覚醒の防遏手段として、 ① その手先に僧侶を使い、学校はなるべく建てずに、 ② 能う限り寺を建てた。村里の児童を訓えるのには小学教師によらず、僧官によって百姓の子供に ③ 祈禱を教えた。しかもその間、独り があって、農奴解放を行ったこと

多面的・多角的なものの見方が必要!
 日本から見た世界史上の事件(ロシアの農奴解放)を語る、日本人ジャーナリストの文章を提示し、世界史で学んだ知識を駆使して考えさせる問題。日本史と世界史の比較といった、歴史のタテ糸とヨコ糸をともに考えさせる問題。各国史だけでなく、地球儀を俯瞰するように、地域の歴史や地理の知識も駆使して歴史を学ぶことが求められる。教科横断的な多面的・多角的な思考力・判断力が必要。